

組立てトランク型自動ラップ式トイレ

ラップポン・トレッカー WT-4 (S)

172,000円税別 189,200円税別

ラップポンとは？

ラップで包む新発想の「ラップポン」は臭いと汚れを密封するため、衛生的です。停電時には専用バッテリーなどで電源を確保することもでき安心です。

POINT1



自動ラップ機構

日本セイフティーが開発した自動ラップ機構は水を使わず、熱圧着によって排泄物を1回毎に密封します。

POINT2



臭い・菌を漏らさない

特殊な防臭フィルムは臭いや菌を外に漏らしません。汚物や吐しゃ物による二次感染を予防します。

POINT3



場所を選ばず使用可能

軽量なので持ち運びも簡単で、災害時にはすぐに設置・使用が可能です。使わない時にはコンパクトに収納も可能です。



排泄物
におい
菌を
閉じ込めます

遮断効果
100%

減菌率
99%以上

長期に
亘り臭気を
抑制

使い方はとっても簡単

使い方動画は
こちら



専用凝固剤を入れる

専用凝固剤を投入し、排泄を済ませます。排泄物の水分を凝固させるために凝固剤を使用します。



スイッチのボタンを押す

排泄後、スイッチのボタンを押してください。自動でラップを開始します。防臭フィルムは自動で供給されます。



ラップ済み袋を取り出す

約90秒後、終了音(ピピピ)が鳴ると切り離し完了です。底トレーを引き出し、ラップ済み袋を取り出してください。

消耗品&オプション



専用凝固剤
カタメルポリマー ウェットティッシュ

専用消耗品

凝固剤、フィルムロール、ウェットティッシュの3点セットです。

6,050円税別 6,655円税別



ラク・アーム

WR-3

専用の手摺りです。立ち座りが楽になり、安心してご使用いただけます。

38,000円税別 41,000円税別



ハンディーバッテリー

電源の取れないところや、停電時も安心してご使用いただけます。

36,000円税別 39,600円税別



ダンビー

WD-4

設置が簡単なダンボールタイプの個室です。更衣室や授乳室などにも。

34,000円税別 37,400円税別



ワンタッチテント

WPT-01

災害時のトイレ空間を素早く確保！ラップポン用として開発されたテントです。

34,000円税別 37,400円税別

● 製造元

● 販売店

日本セイフティー株式会社
NIHON SAFETY CO., LTD.

ラップポン事業部

〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F
e-mail: wrappon@nihonsafety.com URL: https://wrappon.com

ラップポン
セイフティーコール 0120-208-718

営業時間：月～金 9:00～17:30 土・日・祝祭日・年末年始・その他都合により
お休みさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

●掲載商品について 掲載内容は、2025年10月現在のものです。製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。

WP_JSK_2510_08

災害時にもっとも我慢できないことから、トイレ選びが重要

食料？
水？
いいえ、
トイレです！

トイレです！

hokkaido
iburitobu
earthquake



熱圧着で密封!!

排泄物
におい
菌を
閉じ込めます

驚異の防臭素材

BOS

コンプ
ッシュで約90秒!!

kumamoto
earthquake

noto
earthquake

higashinihon
earthquake

被災地では様々なトイレ問題が発生

水が流せず、劣悪なトイレ環境に

ノロウイルスなどの感染症の恐れ

トイレを我慢し、エコノミークラス症候群に

トイレは日常生活でも避難所のような非日常な場所でも重要な設備です。助けを待つだけでなく、災害用トイレを備えましょう。『つかえる』トイレの有無が生死をわけることも。特に病院や福祉施設のように、元々の患者や入所者の方々に加え、避難所での生活が困難な方々が集中することが予測される場所での災害用トイレの対策は必須事項です。

wrappon

もっと早くほしかった!!

一刻も早くと駆けつけた西日本豪雨の避難所の被災者の方が思わずもらした一言です!!

仮設トイレを設置するには、人手と時間が必要です。避難所に仮設トイレが設置されるのには平均1週間かかります。2007年の能登半島地震から、この17年間に発生した日本を分断するほどの大きな被災地での災害支援を実施してきました。

その災害支援の経験から「平成30年7月豪雨」の災害時には、被災地へ迅速に到着したつもりでした、、、発生から2日後には現地に到着していたのです。トイレ不足がいかに深刻なのかがわかる一言でした。

販売実績
シリーズ累計
5万台以上

令和元年8月の前線に伴う大雨

2019年8月27日～29日にかけて発生

佐賀県で記録的な大雨により大規模停電と断水が発生。
また工場より油流出被害で病院も機能せず佐賀県庁からの緊急調達要請に対応。

合計
設置台数 **10台**

令和2年7月豪雨

2020年7月3日～31日にかけて発生

2020年7月は、長期にわたり梅雨前線が本州付近に停滞し、東北地方から西日本にかけて広い範囲で記録的な大雨や日照不足となった。
特に3日～8日にかけては、九州で多数の線状降水帯が発生した。
熊本では日本財団が支援した、災害医療ACT研究所備蓄分より41台を設置。政府の要請により50台を支援し、避難所に設置。山形の避難所にも4台を設置した。

合計
設置台数 **95台**

熊本地震

2016年4月16日発生
(熊本県内95箇所以上に設置)

現地入りした災害医療チームや医師からラップボンの要請があった。
日本財団から災害医療ACT研究所に災害支援物資としてラップボン500台分の支援が決定。政府の要請により50台の支援が決定した。スタッフが現地入りし、臭いや感染症の問題が発生していた避難所へラップボン450台を設置した。屋内で使用できるラップボンの設置は、避難所生活環境の改善に役立った。



合計
設置台数 **450台**

平成30年7月豪雨

2018年6月28日～7月8日にかけて発生
(岡山県・広島県・愛媛県に130箇所以上に設置)

連日の豪雨で、広域で家屋等が浸水。現地入りした災害医療チームからラップボンの要請があった。日本財団から災害医療ACT研究所に災害支援物資としてラップボン1,000台分の支援が決定。現地入りしたスタッフが、岡山・広島・愛媛に450台のラップボンを設置。政府の要請により50台を支援し設置。孤立地区へ設置活動を行った。



政府からは、50台分の支援が決定し、孤立地区へ設置活動を行いました。
経済産業省から感謝状をいただきました。

合計
設置台数 **500台**

令和6年能登半島地震

現地入りした災害医療チームや医師からラップボンの要請があった。日本財団が支援した、災害医療ACT研究所備蓄分より550台を設置。輪島市の要請により政府が70台を支援し設置。道路の大規模な崩落で大型トラックが通行できず、仮設トイレの設置が遅れていた。避難生活が長引く中で感染症が発生していた。避難所、病院、学校、介護施設に設置活動を継続。



中越沖地震

2007年7月16日発生 (刈羽村・柏崎市内30箇所に設置)

合計
設置台数 **100台**

北海道胆振東部地震

2018年9月6日発生
(厚真町・安平町・平取町20箇所以上に設置)

平成30年7月豪雨の支援活動が終了に向かう頃、北海道の胆振東部地区で大地震が発生。
支援活動範囲を北海道にも広げ、災害医療チームや医師と共に、日本財団が支援した災害医療ACT研究所備蓄分より100台を設置。



合計
設置台数 **100台**

東日本大震災

2011年3月11日発生
(宮城県50箇所以上に設置)

内閣府よりラップボンの要請があり110台を石巻市と東松島市に輸送し、支援活動を開始。日本財団や民間からの支援により約400台を支援し追加で設置した。

これまでの被災地支援でトイレ問題を重要課題として向き合ってきた経験を活かし、自治体や関係機関と連携し迅速に活動を実施。避難所のトイレ需要の調査を行い、必要な場所にラップボンを設置していった。
また、医療機関と共に情報を共有し、感染症が発生している避難所へも積極的に配置。



合計
設置台数 **500台**

令和元年台風15号・19号

15号:2019年9月9日上陸/19号:2019年10月12日上陸
(宮城県・福島県・長野県・千葉県に47箇所設置)

台風15号は2019年9月9日5時前に千葉県付近に上陸し、関東各地で記録的な暴風雨となった。各地で倒木や建物損壊などの被害がみられ、大規模な停電や断水も発生。災害救助法を用いて君津市と木更津市がラップボンを各10台ずつ導入した。

台風19号は、関東地方や福島県を通過。台風の影響で記録的な大雨により各地で河川の決壊・氾濫等が相次ぎ、大きな被害が発生した。
10月14日災害医療ACT研究所から支援要請があり日本財団が支援した、災害支援ACT研究所備蓄分より宮城県丸森町、福島県相馬市、南相馬市、いわき市、長野県長野市に計180台のラップボンを設置。

合計
設置台数 **200台**

能登半島地震

2007年3月25日発生 (輪島市内11箇所に設置)

合計
設置台数 **50台**